

栗駒山の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況

大柳（山頂の南東約 20km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2～3）

栗駒山を震源とする火山性地震、火山性微動は観測されませんでした。

なお、栗駒山の近傍では、2008 年 6 月 14 日に発生した「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」（M7.2）の余震活動が続いています。

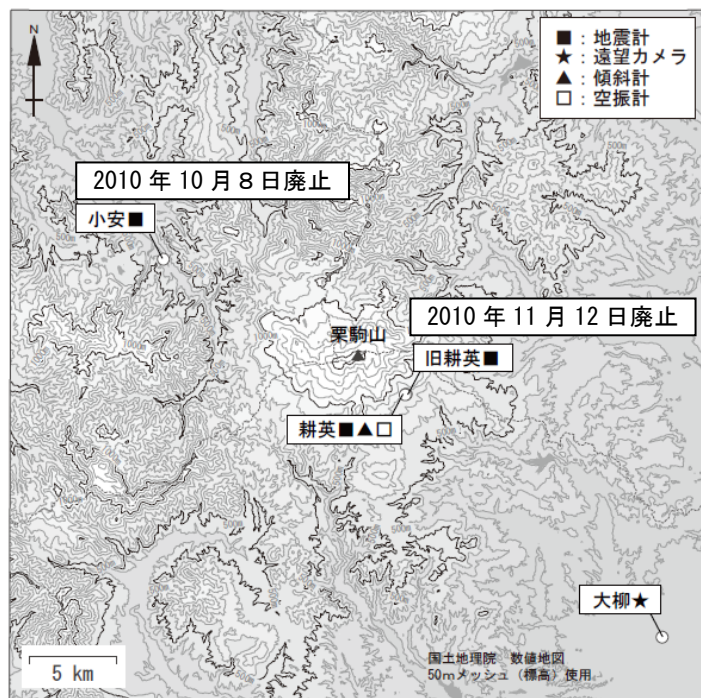


図1 栗駒山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月分）は平成 23 年 2 月 8 日に発表する予定です。

※資料は、気象庁のデータの他、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

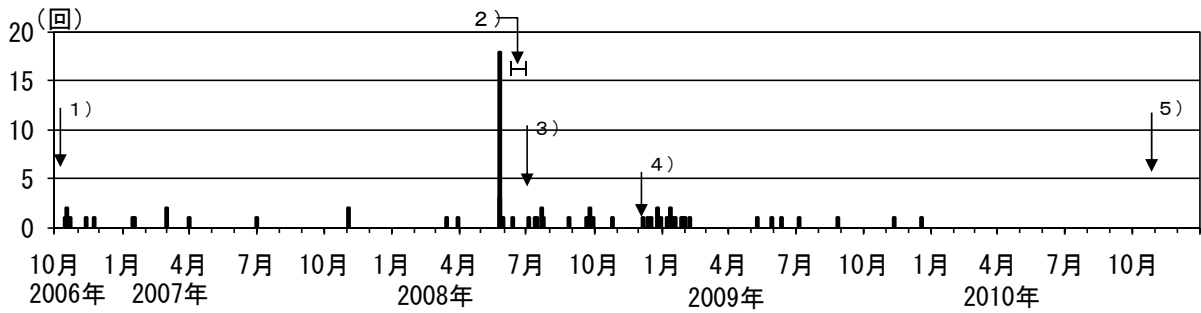


図 2 栗駒山 日別地震回数（2006 年 10 月～2010 年 12 月）

- 1) 2006 年 10 月 12 日から旧耕英観測点（山頂から南東約 4 km）で観測開始。
- 2) 2008 年 6 月 14 日から 7 月 2 日 18 時まで「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能となっていました。
- 3) 2008 年 7 月 2 日 18 時から小安（おやす）観測点（山頂から北西約 10 km）で監視を開始。
- 4) 2008 年 12 月 4 日から旧耕英観測点が観測再開。
- 5) 2010 年 10 月 1 日から耕英観測点（山頂から南東約 4 km）で観測開始。

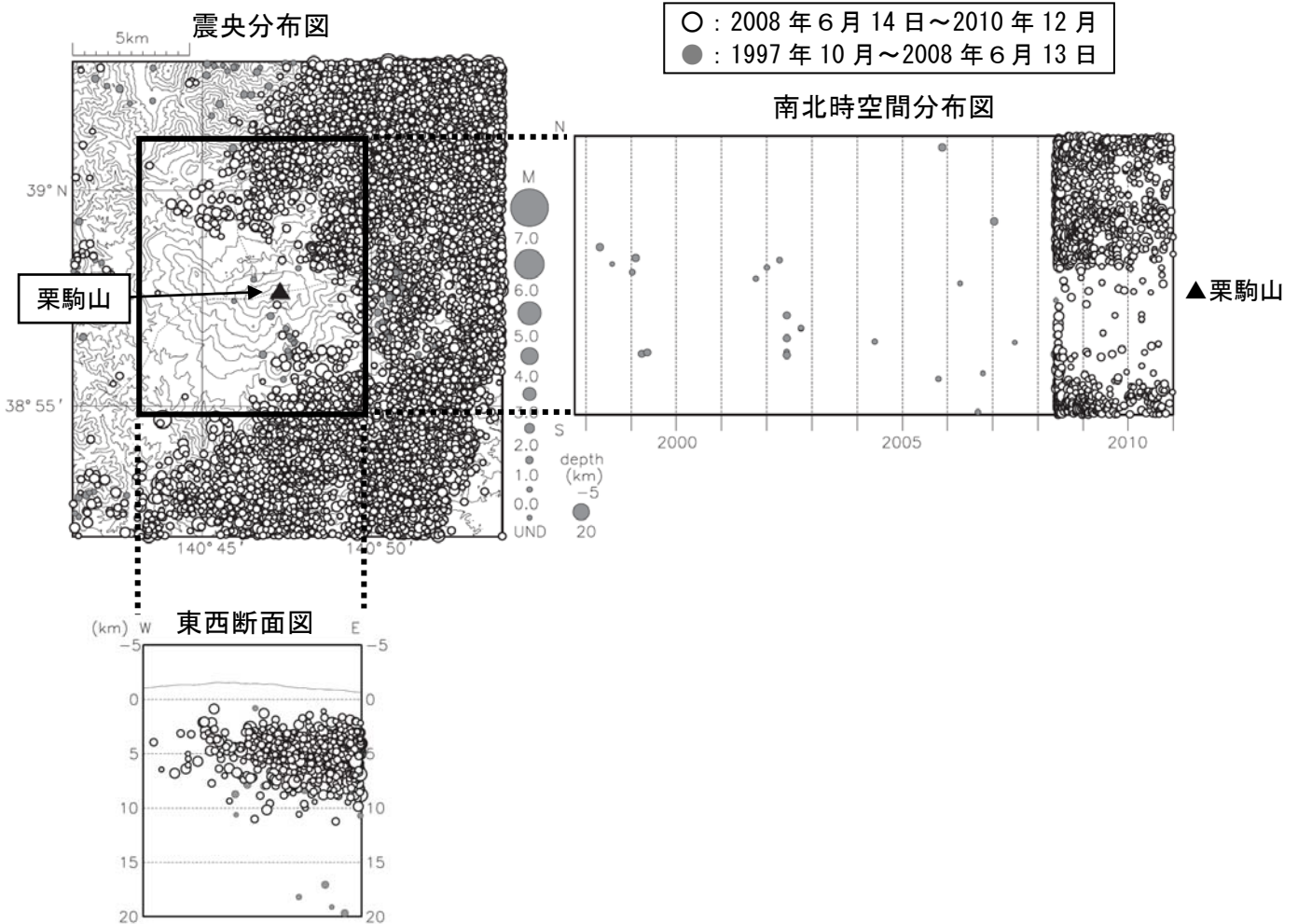


図 3※ 栗駒山周辺の地震活動（1997 年 10 月～2010 年 12 月）

注) 2001 年 10 月以降、検知能力が向上しています。

M（マグニチュード）は地震の規模を示します。

図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。